

## 市長記者会見

10月1日からの「感染警戒期」における市民の皆様への注意喚起など

市民の皆さん、こんにちは。そして報道関係の皆様には、本日もご多用なところご参集いただき、心から感謝を申し上げます。

既に皆さんもご承知の通り、全国19の都道府県への「緊急事態宣言」及び8つの県の「まん延防止等重点措置」は、9月30日をもって解除される運びとなっていて、実に約半年ぶりに宣言や重点措置の対象地域がゼロとなります。

こうした対応に伴い、29日の知事会見におきましても、10月1日から当面の間、県独自の感染警戒レベルを「感染対策期」から「感染警戒期」に引き下げるとの発表がありました。

県民の皆様のご協力にもよりまして、12日の「まん延防止等重点措置」解除後、本県の感染状況は限定的な増加はあったものの、大きなリバウンドや顕著な再拡大の傾向は見られておらず、国の7つのステージ指標も全てステージ2に下がるなど一時よりは随分と落ち着いてまいりました。

一方、本市におきましては、依然として散発的な陽性が確認されており、こうしたものに加えて、県内の感染リスクも十分に下がりきっている状況ではありません。

今後、10月に入って人流の増加も予想される中、感染回避行動を徹底し、社会経済活動を徐々に再開へと歩みを進めなければならないと考

えています。

本日は、警戒レベルを引き下げる10月以降の①市民の皆様への協力依頼、②事業者、飲食店への協力依頼、③イベントや施設利用、④学校活動、それに併せて⑤ワクチン接種の5点についてお話いたします。

## ①市民の皆様への協力依頼

それでは市民の皆様への協力依頼について2点のお願いです。

まず1点目、県外との往来については一律の自粛は求めませんが、県外との往来は十分注意をお願いします。出張等で県外との往来時には訪問先の感染状況や要請内容を十分確認していただき、感染リスクの高い行動を避け、感染回避行動の徹底をお願いします。

なお、本市を含む東予4市に出されていましたが外出の機会を減らすことについては適用外となりましたが、最近の感染状況を見ると、松山市や新居浜市では新規の感染者も確認されていますので両市との往来は引き続き注意をお願いします。

次に2点目、会食についてです。「感染リスクの高い行動のない方」と「10人以下で」「長時間を避けて」「感染対策が徹底されているお店」を利用していただくようお願いします。

今後、社会経済活動を徐々に回復させていきますと、今治特有の異業種交流いわゆる“無尽(むじん)”の機会が増えることが予想されます。本市にはさまざまな業種の方が働いており、意見交換の必要性も十分に理解していますが、愛媛県のまん延防止等重点措置が解除となった途端、

本市や新居浜市、あるいは四国中央市などにおきまして、複数の会食由来の感染が確認されたケースもありました。異業種交流は何のために行うのか、今一度お考えいただき、会食のルールを守っていただきますよう改めてお願いします。

特に感染第5波においては、活動的である20代から30代の方々の長時間にわたるグループでの趣味の集まりやバーベキュー、宅飲みなどの事例も確認されており、密にならないよう感染防止対策を徹底し、慎重な行動をお願いします。

## ②事業者、飲食店への協力依頼

次に、事業者、飲食店の皆様へのお願いです。

まず、事業者の皆様については引き続き業種別のガイドラインを遵守していただき、職場内、特に休憩スペースなどのバックヤードを含めた感染防止対策の徹底をお願いします。

飲食店の皆様については、こちらも引き続き不特定多数を集め混雑が予想されるイベントの開催はくれぐれも自粛していただきますようお願いいたします。

なお、愛媛県の「愛顔の安心飲食店認証制度」で認証を受けている飲食店の皆様には、店舗の感染対策を主導する「感染対策マネジメントリーダー」を設置した場合、感染防止対策を目的とした奨励金が支給されますので、ぜひご活用ください。

### ③ イベントや施設利用

次にイベントや施設利用についてです。

イベントについては国の基本的対処方針や愛媛県の方針に基づき、ガイドラインを遵守されたうえで、10月12日まで、5,000人または収容人数の50%以内（上限10,000人まで）のいずれか大きい方を基準として実施可とします。

市有施設利用については、入浴設備がある宮窪福祉センターを、2週間程度、県内の方の利用に限定いたします。キャンプ場やレンタサイクル、体育施設等その他の市有施設については、一部市民利用に限定していましたが、10月1日からは感染防止対策を徹底したうえで順次利用や新規の受付を再開していきます。元より準備期間が必要な施設もありますので、詳しくはホームページ等でご確認いただくようお願いいたします。

### ④ 学校活動

続きまして、学校活動についてです。

こちらも愛媛県の対応方針に基づき、身体接触を伴う活動は注意をして実施可とします。当面見送っておりました交流事業は、県内交流は注意をして、県外交流は厳選して実施可とします。

また、部活動については他校との練習試合等を行わないこととしておりましたが、注意して実施をすることといたします。

9月に入って、新学期での感染拡大を大変心配していましたが、各校

で運動会なども人数制限等を行ったうえで実施していただきました。学校関係者、PTAの方々の多大なご協力をいただき、今治モデルかもしれませんが、こうした取り組みの結果によって、陽性者を出すこともなく、無事に実施することが出来ましたこと、多くの皆様にこの場を借りて、心から感謝を申し上げます。

今後、修学旅行や野外活動のシーズンを迎えますが、感染防止対策を徹底し、子どもたちにできるだけ心震える体験が可能となるよう、学校ともしっかりと連携を密にし、慎重に判断してまいります。

## ⑤ワクチン接種について

ワクチン接種についてですが、基礎疾患のある方や妊婦の方、受験等で県外に行かれる方などへの優先接種を含め、12歳以上の方への接種については、昨日の愛媛県から報告があったように、ワクチン接種に関しての市町別の進捗状況では、2回目のワクチン接種を終えた方の接種率が県内で最も低い数値となっております。私の方にも「接種が今治市では進んでいないのではないか」そんな懸念の声が寄せられましたが、ご心配は無用です。今治市におきましては、医療機関あるいは医療従事者の皆さんとの関係は非常に良好であり、ワクチンさえこちらに届けられたら、多くの皆さんにワクチン接種を行える環境が整っていますので、どうぞご安心ください。今治市の場合は、1回目接種と2回目接種の期間を分けた体制で接種を進めておりました。

現在、ご予約いただいている状況からしますと10月末までには8割以上の方が2回のワクチン接種を確実に終えることができるも

のと確信しております。

一方で、予約の状況を世代別に報告をします。

9月26日現在、65歳以上の方91.1%、40歳～64歳の方には81.3%、12歳～39歳の方には64.9%となっており、比較的順調に接種が進んではいるものの、12歳～39歳までの若年層の接種率が未だ低い傾向にあります。このあたりについては、先ほどからお話をしていますように、国からのワクチン供給不足があった背景で、予約が困難な状況となっていたこと等がございまして、大変多くの皆様にご迷惑をおかけしました。希望される方全員に早期接種をしていただきたい、そういう環境整備を整えたいと思っておりますので、希望される方は、早め早めに予約いただきますようお願いいたします。

先般、大学入学共通テスト出願受付も開始されたと聞いております。本格的な受験シーズンを迎えるほか、12月、そして翌1月には令和3年成人式、令和4年の成人式など人生の節目となる行事を控えております。今までと同様に県を通じて国へワクチンの追加配分の要望を強く行って、11月以降にもワクチン接種が行えるように取り組んで参りたいと考えております。

結びに、先日嬉しいことがありました。先の東京パラリンピック100m平泳ぎにおいて、ご自身が持つ世界記録を更新し、見事金メダルを獲得された山口尚秀選手に対し、今治市としては初となる今治市スポーツ大賞をお贈りさせていただきました。賞状は桜井漆器、そして記念品としては、世界一にふさわしい、世界一のタオルを使ったバスローブをお送りしました。コロナの第5波が懸念される中での

パラリンピック、無観客での開催でありましたが、山口選手やご家族の思い、関係者の皆さんの支えがあって、本人の努力が実を結び、日本中に大きな感動と、今治市に向けては、未来への新しい風を吹かせていただいたと思っています。

また、26日にはポルトガルで開催されたボートの新競技、「ビーチスプリントローイング」という競技ですが、第1回世界ジュニア選手権女子ダブルスカルで今治西高校ボート部2年生の八塚彩沙(ささ)さん、山下未由希さんのペアが、見事、銀メダルを取ったとのニュースも舞い込んでまいりました。

さらに、10月に入りますと、今治西高伯方分校、今治北高大三島分校において、民間のスタディサプリを導入し、生徒のニーズに応じた学習支援を行うことを目的とした「地域未来チャレンジ塾」の開講式が行われることとなっており、市内外から生徒の呼び込みにも大きな期待が寄せられています。

今後も若い世代のエネルギーと市民の皆様のお知恵、さまざまな経験を借りながら、かつての賑わいを少しずつでも取り戻せるよう、コロナ対策にも万全を期して取り組んでまいりますので、市民の皆さんどうぞよろしく申し上げます。